

(蚊が媒介する感染症対策
の進捗状況について)

蚊媒介感染症の最新の動向について

平成 28 年 8 月 25 日(木)

保 健 予 防 課

1. ジカウイルス感染症について

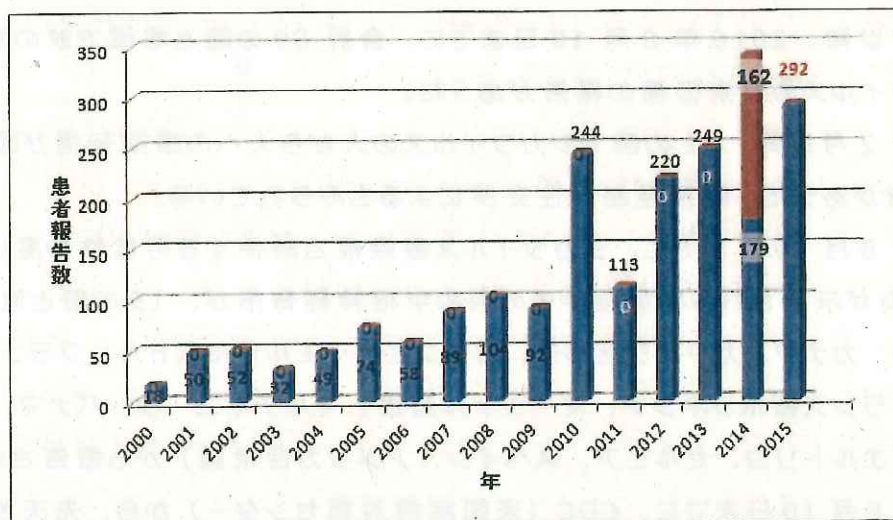
- 2007 年以降、2016 年 8 月 10 日までに、合計 69 の国と地域で蚊の媒介によるジカウイルスの感染伝播の報告があった。
- 2016 年 2 月以降、11 の国でジカウイルスの人から人への感染伝播が起きていたと報告があった。感染経路は性交渉によるとみられている。
- 2016 年 8 月 10 日までに、ジカウイルス感染症と関係する可能性の高い、先天性の感染が示唆される小頭症やその他の中枢神経奇形が、15 の国と地域（ブラジル、カナダ、カーボヴェルデ、コロンビア、エルサルバドル、フランス領ギアナ、フランス領ポリネシア、マーシャル諸島、マルティニーク、パナマ、パラグアイ、プエルトリコ、セルビア、スペイン、アメリカ合衆国）から報告された。
- 2016 年 8 月 10 日までに、CDC（米国疾病対策センター）から、先天性障害のあった新生児 15 例とジカウイルスへの感染の可能性のある先天性障害による流産 6 例が報告された。
- 中南米の流行が始まって以降、日本国内でジカウイルス感染症と診断された症例は 7 例で、いずれも流行地域への渡航歴があった。

Spread and impact of the Zika virus 2013-2016

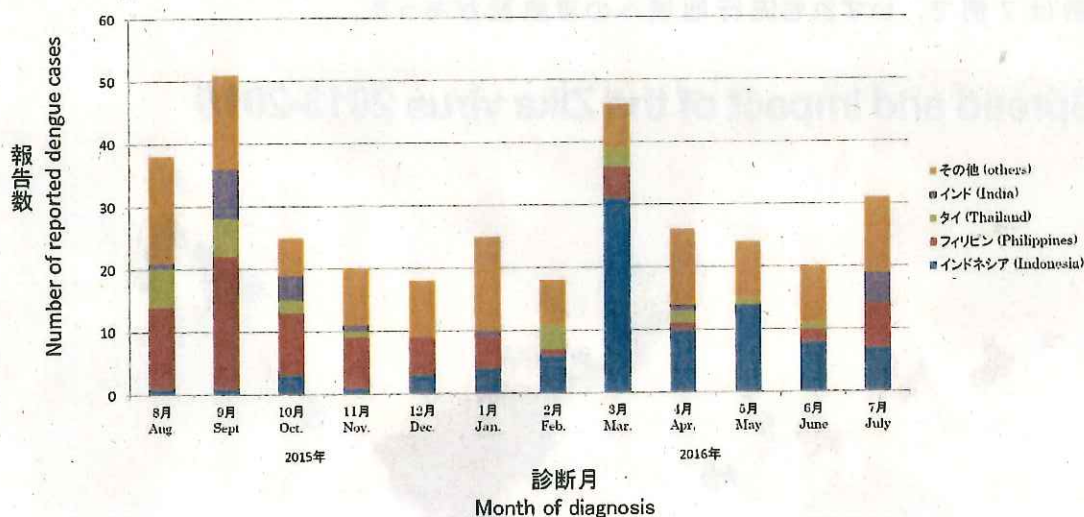


2. デング熱について

- 近年、日本国内におけるデング熱患者は、年間 200～300 例程度で推移している（東日本大震災のあった 2011 年は 113 例と、近年では最少）。
- 国内発生事例（計 162 例）の報告があった 2014 年以外の年は、いずれも流行地域へ渡航後に帰国し、確定診断に至った輸入症例であった。



- 輸入デング熱症例の診断月および推定感染地域別の流行曲線は以下のとおり。インドネシア・フィリピン・タイ・インド・マレーシアが多い。



3. その他

- チクングニア熱がアジア・アフリカ・中南米を中心に流行している。
- 黄熱の流行が、アフリカ地域（コンゴ民主共和国・アンゴラ等）でみられている。

平成28年度 蚊媒介感染症に関する蚊のウイルス保有調査

〇ヒトスジシマカの採取数及びウイルス検査結果

平成28年8月19日

実施月		5月		6月		7月		8月		9月		10月
実施場所	調査日	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目
		5月23日 ～24日	6月7日	6月21日	7月5日	7月19日	8月9日					
幕張海浜公園	捕獲地点											
	調査内容											
	採取数	0	0	0	0	0	0	2(2)				
	検査結果							陰性				
	採取数	0	1(1)	3(3)	2(2)	0	0	0				
	検査結果		陰性	陰性	陰性							
柏の葉公園	採取数	0	0	14(9)	38(18)	12(11)	2(2)					
	検査結果			陰性	陰性	陰性	陰性					
	採取数	2(1)	1(1)	1(0)	0	0	1(1)					
	検査結果	陰性	陰性				陰性					
	採取数	1(1)	0	16(8)	2(0)	23(11)	5(3)					
	検査結果	陰性		陰性		陰性	陰性					
	採取数	0	4(2)	1(0)	2(1)	0	0	0				
	検査結果		陰性		陰性							

* 採取数:採取したヒトスジシマカのうち、メスの個体数を()で表記します。

* 検査結果:人を刺咬するメスに対して、デング熱、チクング熱、ジカ熱の検査を実施します。メスが採取できなかった場合は、検査を実施せず、「/」と表記

